

平成30年10月13日
リクシアナ座談会
札幌プリンスホテル

高齢者心房細動で注意すべきポイント ～抗凝固療法を中心に～

中島内科循環器科メンタルクリニック

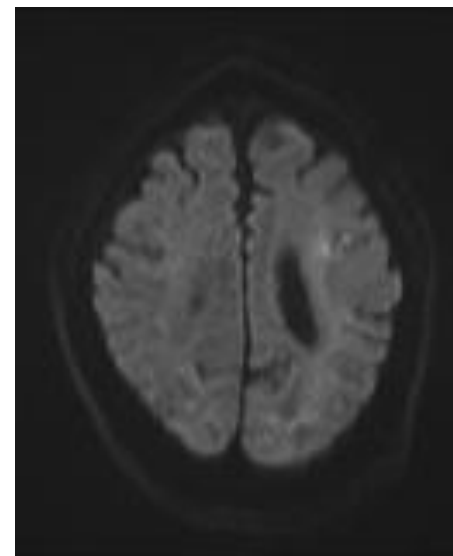
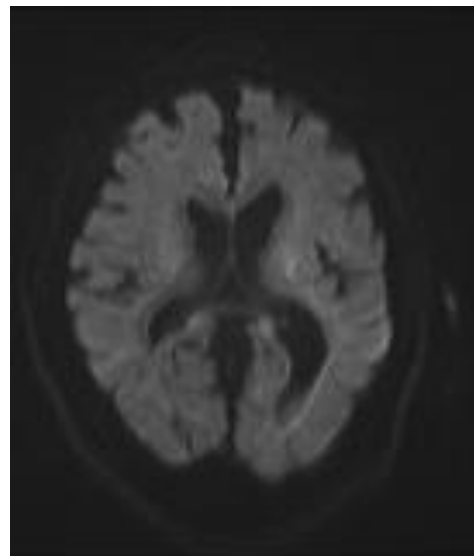
中島 滋夫

症例①75才♂

リバーロキサバン15mg

多忙のため水分摂取できず

右上肢麻痺、構音障害

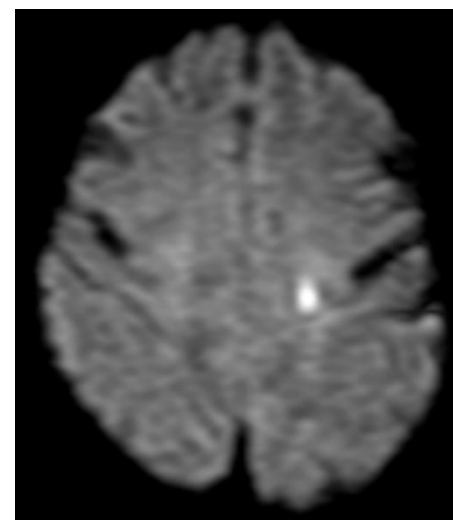
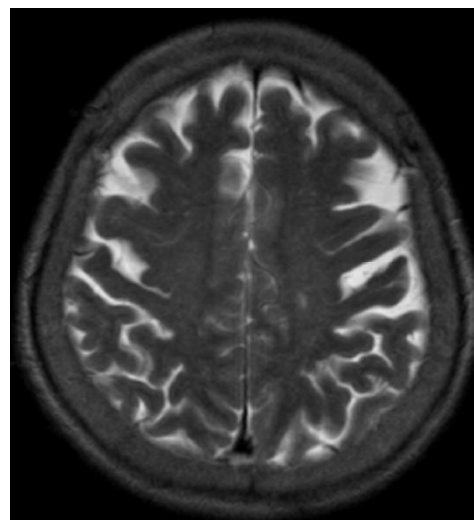


症例②73才♀

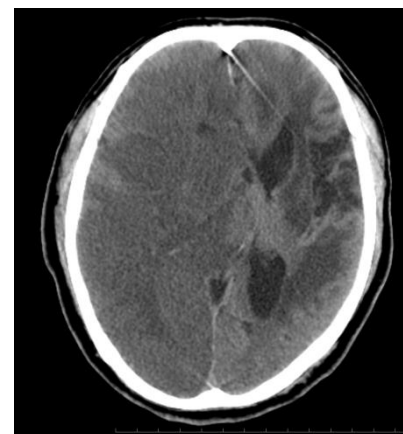
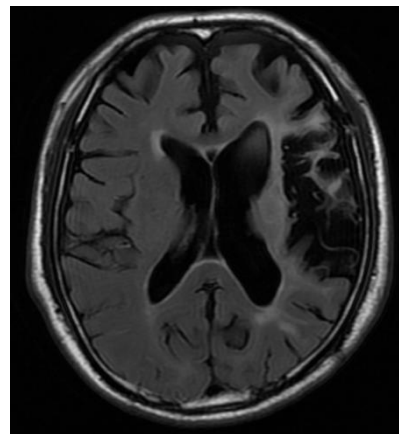
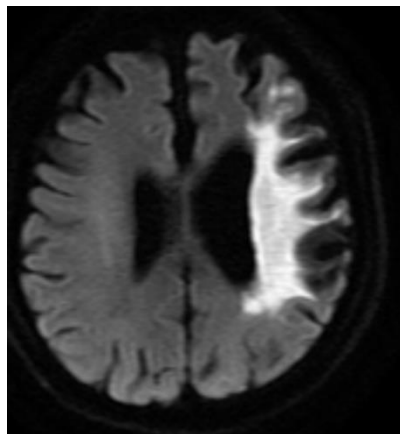
リバーロキサバン10mg

Under-dose

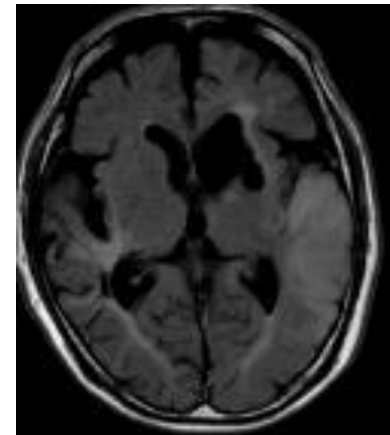
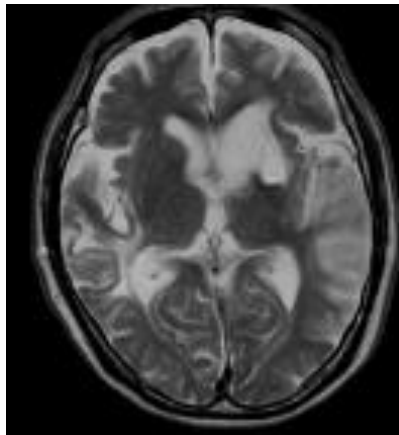
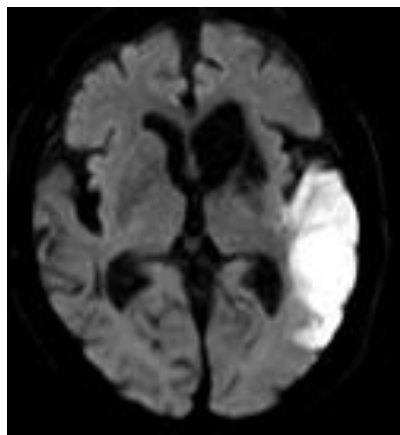
右下肢不全麻痺



症例③75才♂
ダビガトラン300mg
飲み忘れ
左内頸動脈閉塞で
死亡

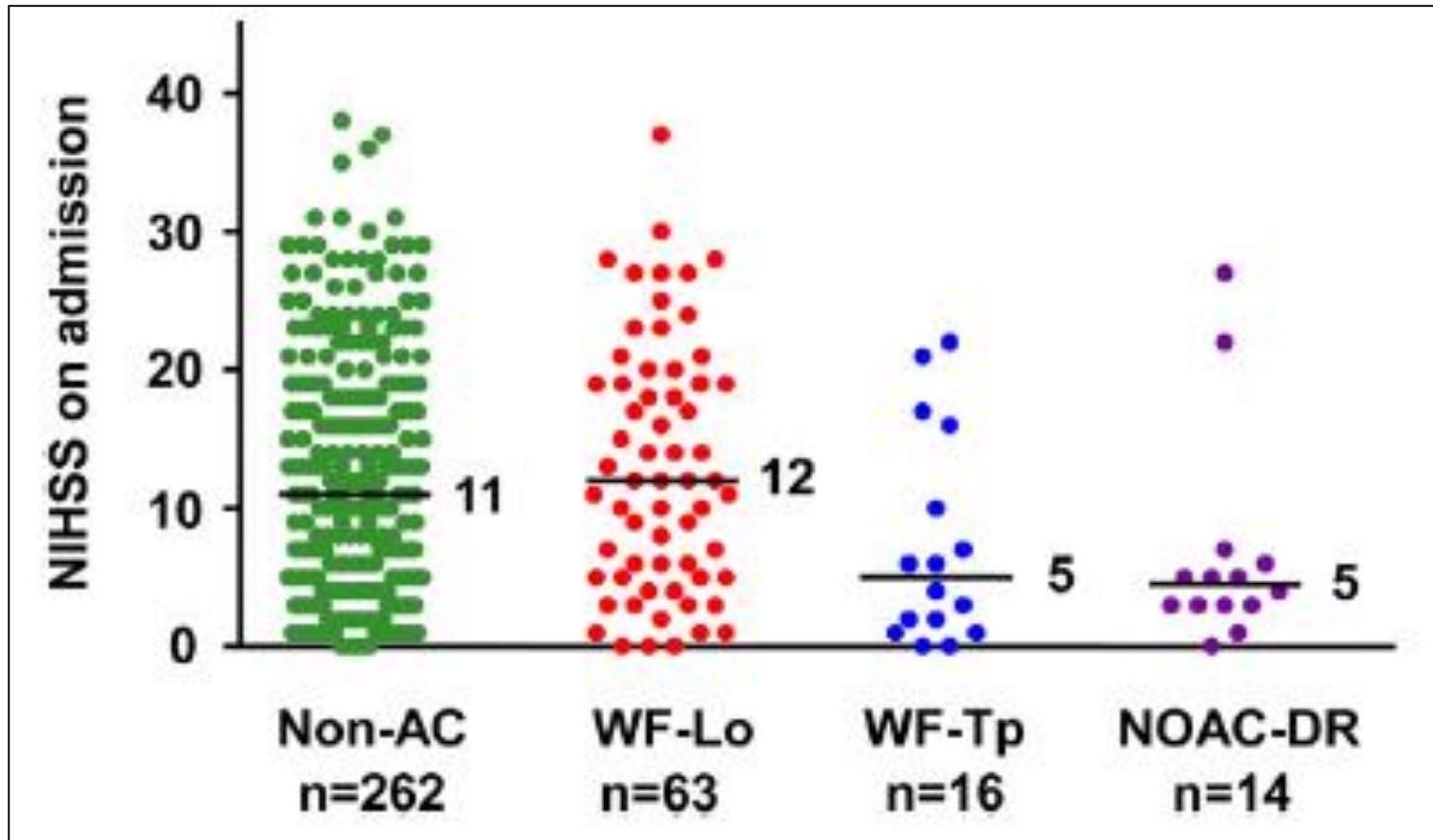


症例④79♂
アピキサバン10mg
胃潰瘍出血後、外
科医が再開せず
左中大脳動脈閉塞
で失語

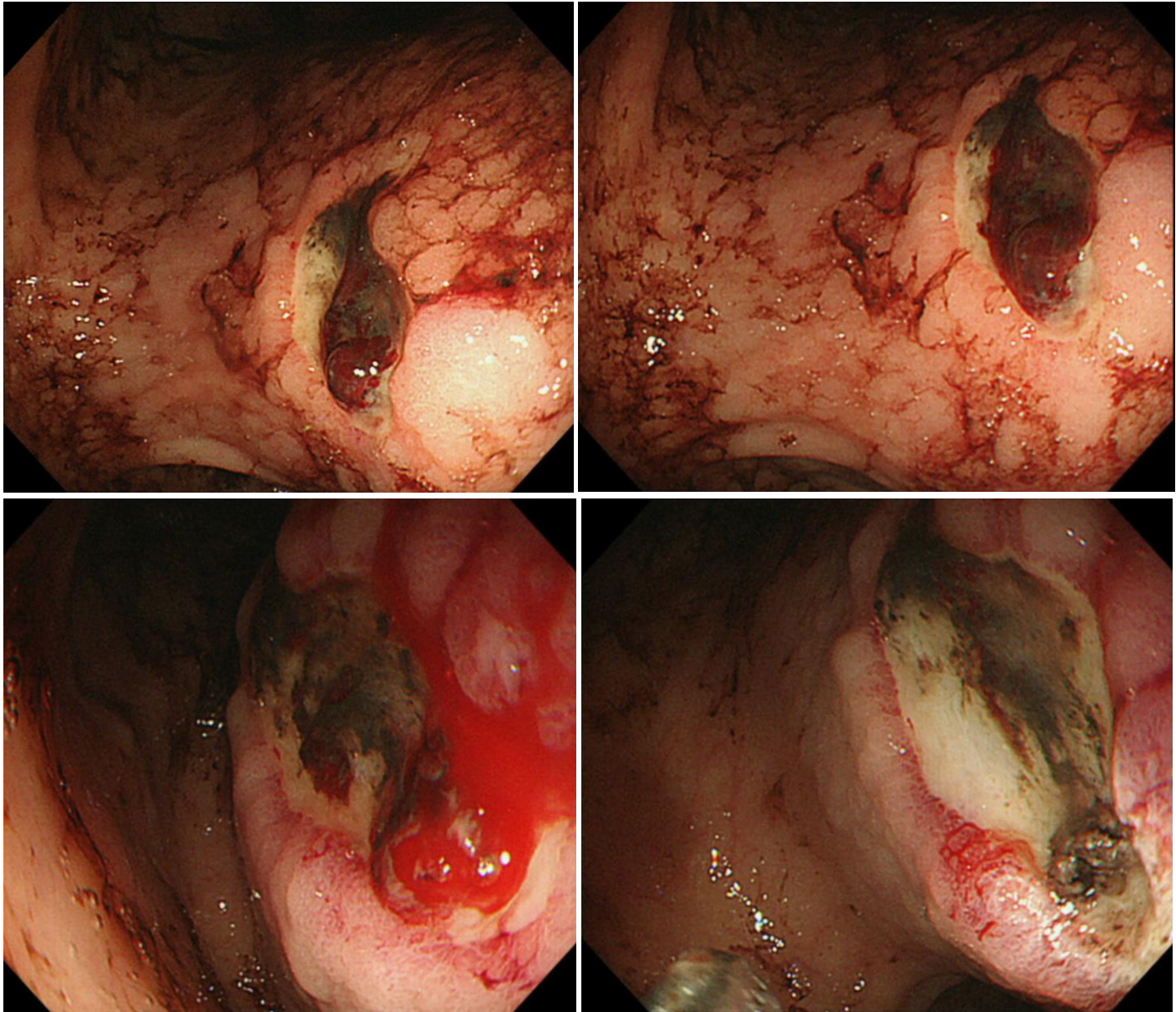


DOAC内服患者に発症した心原性脳塞栓症の重症度

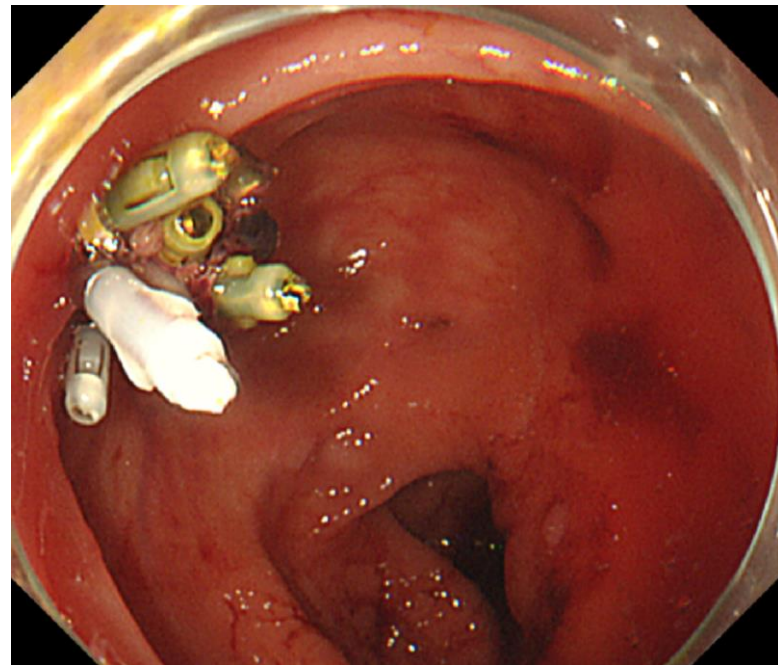
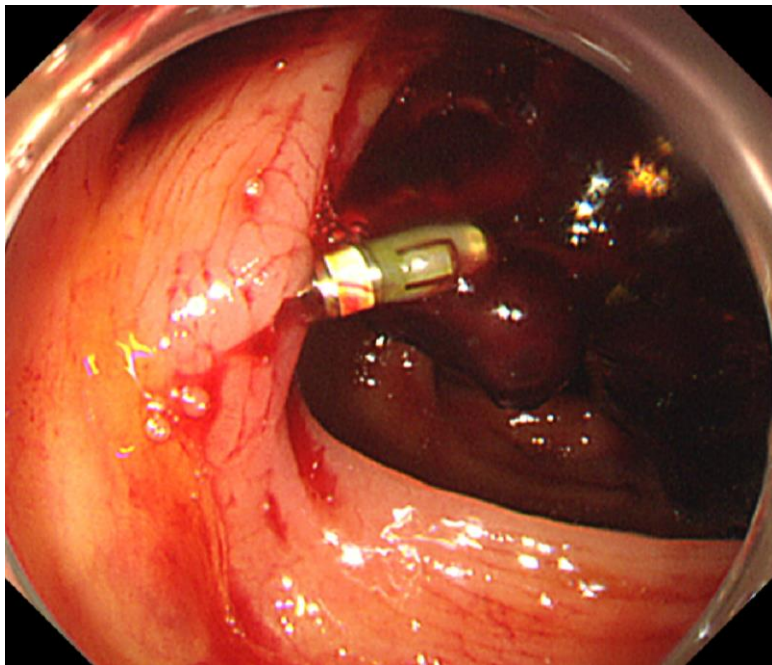
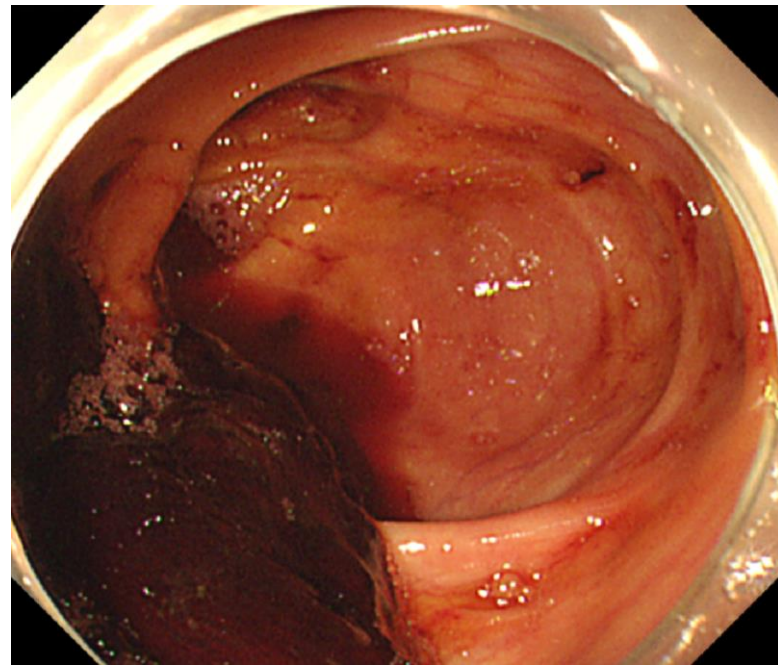
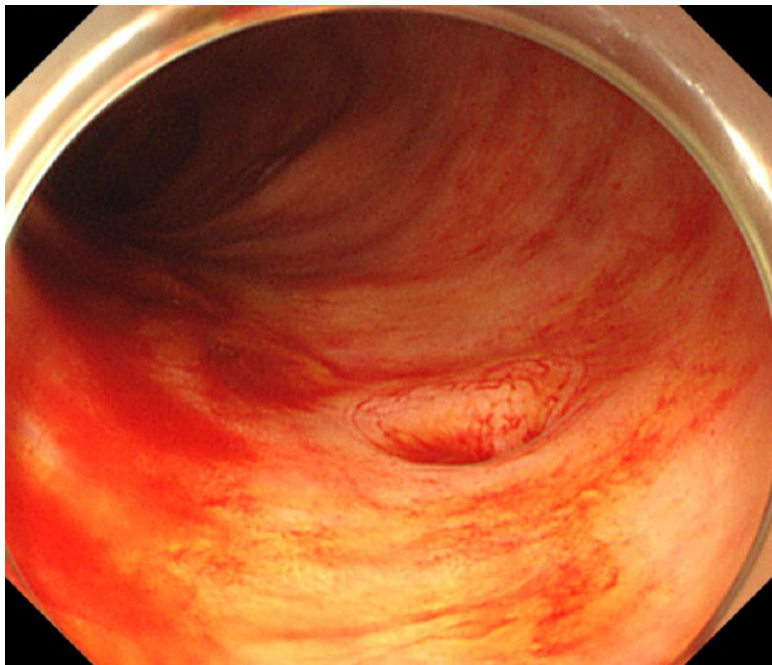
入院時重症度 (NIHSSスコア)



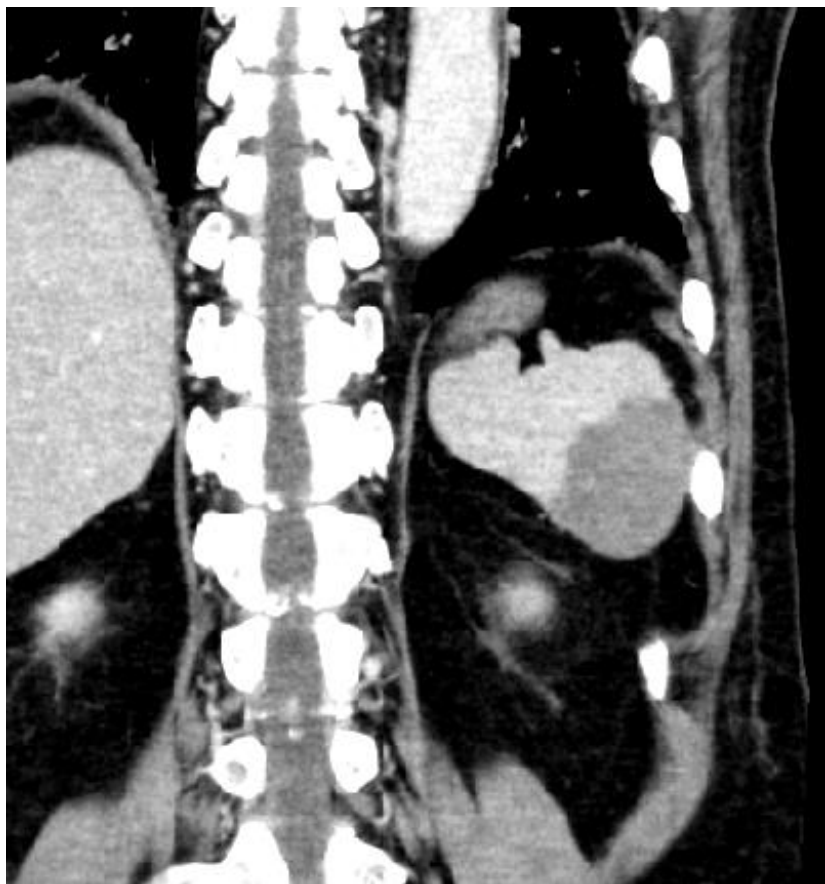
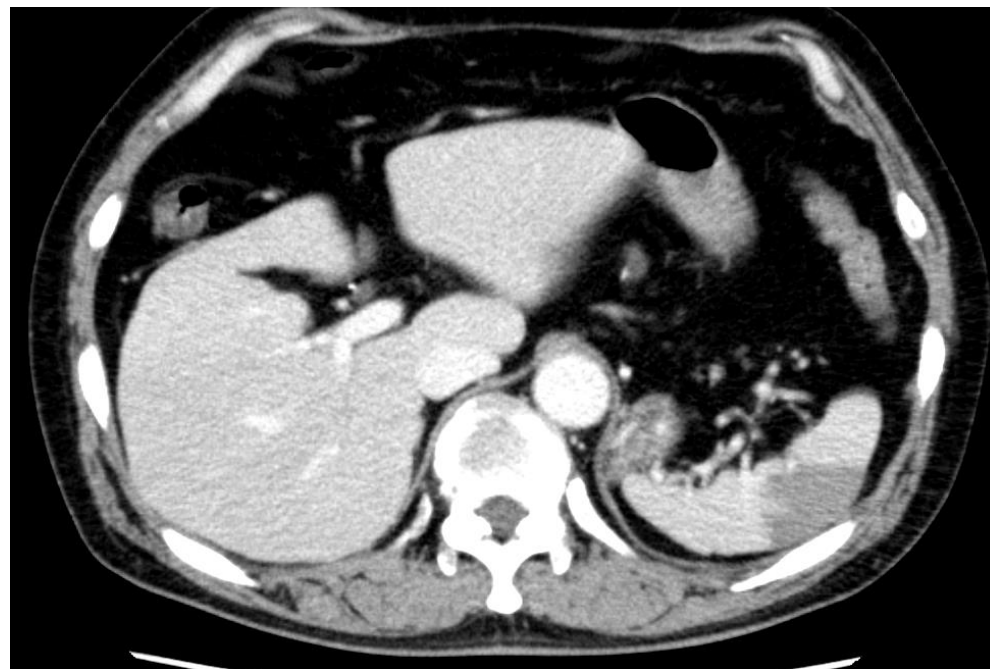
症例⑤85才、♀エリキユース5mg 吐血後に出血性ショック、Hb5.7g/dl、輸血。



症例⑥
67歳 ♂ CF
アピキサバン
10mg
下血



症例⑥ (4104) 67歳 ♂
腹部造影CT



函館五稜郭病院消化器内科 山川 司先生

DOAC経験症例

(平成23年5月～28年11月)

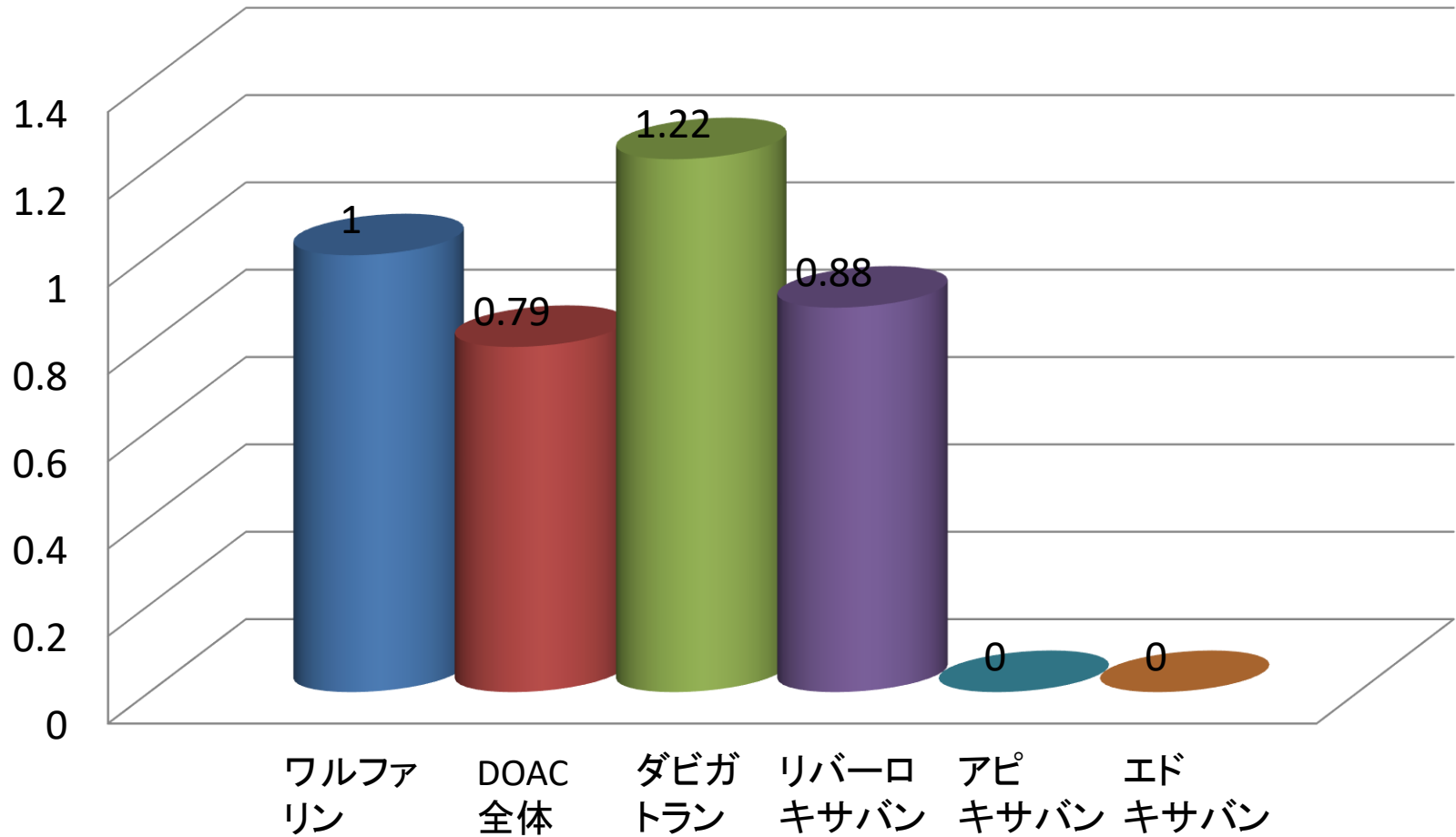
平均年齢71(33-100)才、男性56%

	症例数	平均観察期間
DOAC全体	340例	731日
ダビガトラン	131例	598日
リバーロキサバン	111例	1040日
アピキサバン	73例	689日
エドキサバン	25例	177日

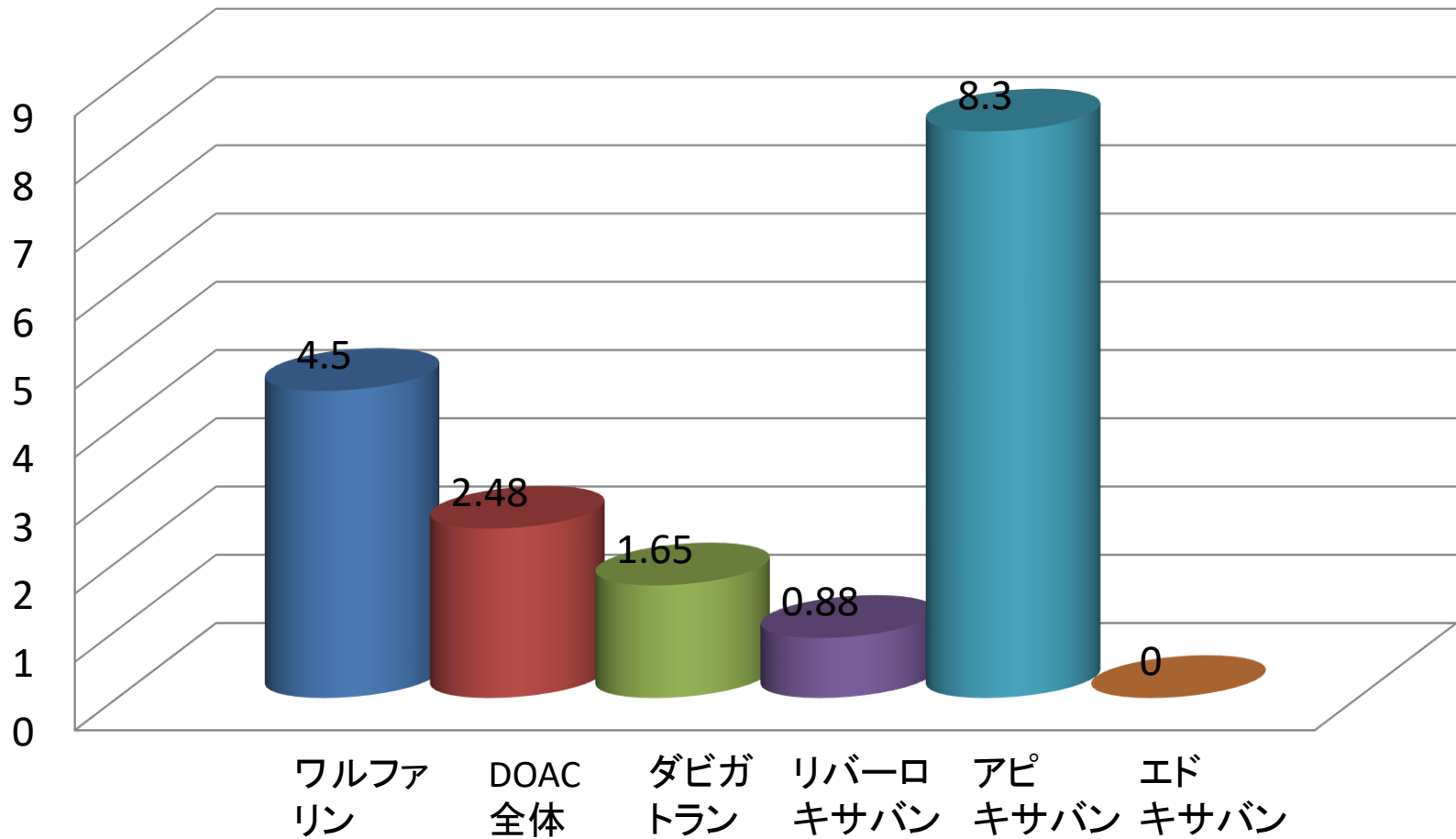
当院でのDOACの合併症

- 脳梗塞6例 0.79/100人・年
 - 投薬の中断で塞栓症再発 2例
 - 過少投与で脳塞栓症 1例
 - 水分摂取不良 1例
 - ラクナ梗塞 2例
- 出血11例 2.48/100人・年
 - 脳出血 1例
 - 悪性腫瘍 2例
 - 小腸、大腸出血 2例
 - 胃潰瘍出血 6例(抗炎症剤2例)

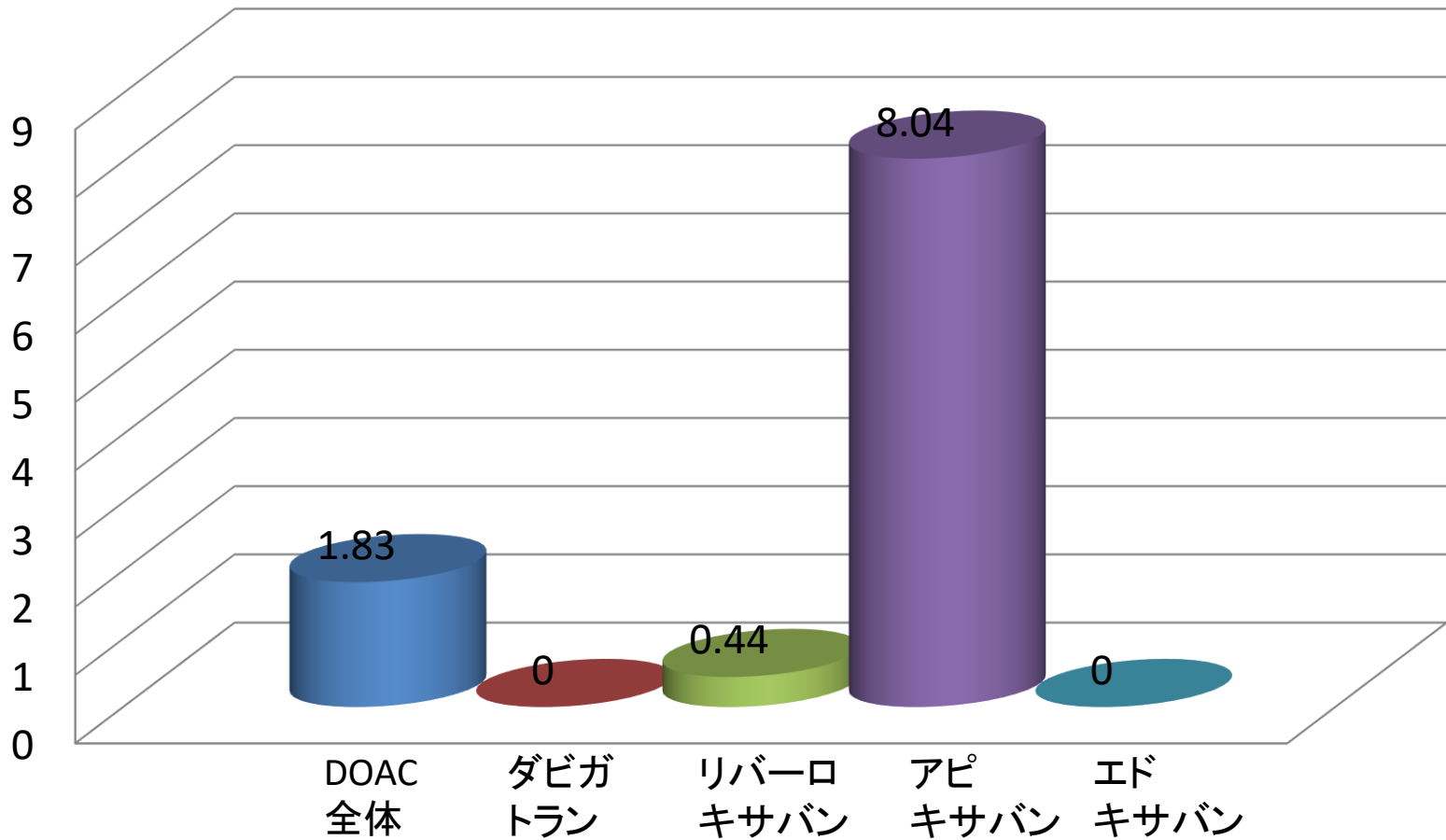
脳梗塞発症率 (/100人・年)



大出血発症率(/100人・年)



胃潰瘍出血発症率 (/100人・年)



アピキサバンは他のDOACに比べて出血が多いのか？

Propensity Score解析

共変量(年齢、性別、体重、収縮期血圧、Cr、 γ GTP)

統計解析SPSS Ver18.0

- 層別解析(5分位): Mantel Haenszel Method

大出血は有意差なし($p=0.28$)

胃潰瘍出血は有意に多い($p=0.033$)

- ロジスティック回帰分析(Propensity Score補正)

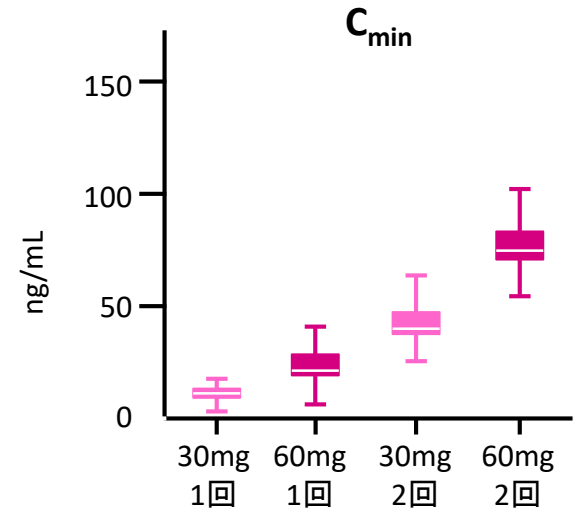
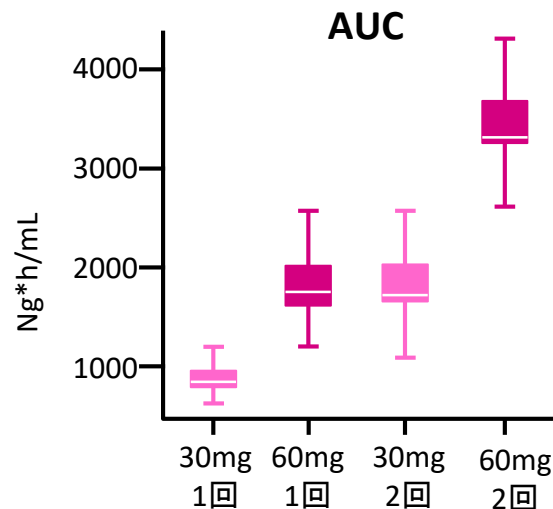
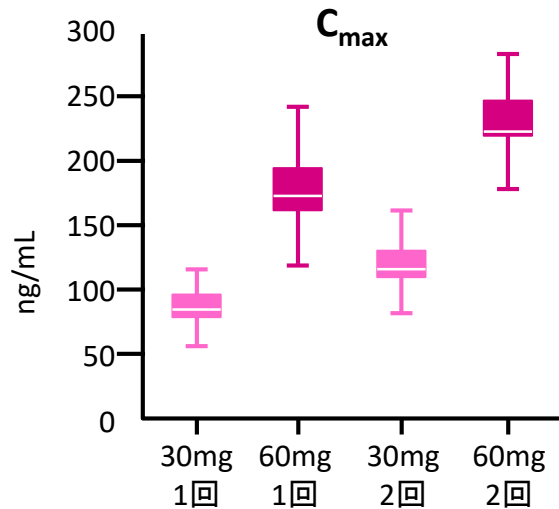
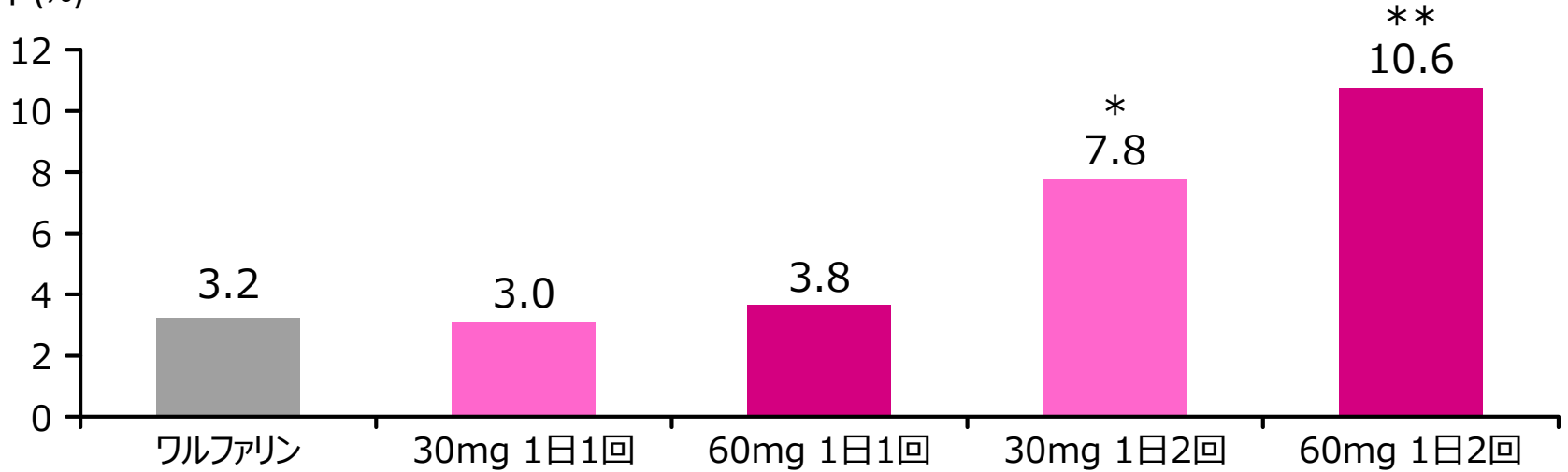
大出血 $\exp(\beta)=2.94(p=0.09)$

胃潰瘍出血 $\exp(\beta)=7.52(p=0.024)$

- Propensity Score mattingでは74例のみとなりCOX解析不可

Xa阻害薬(エドキサバン)の投与回数と出血の頻度

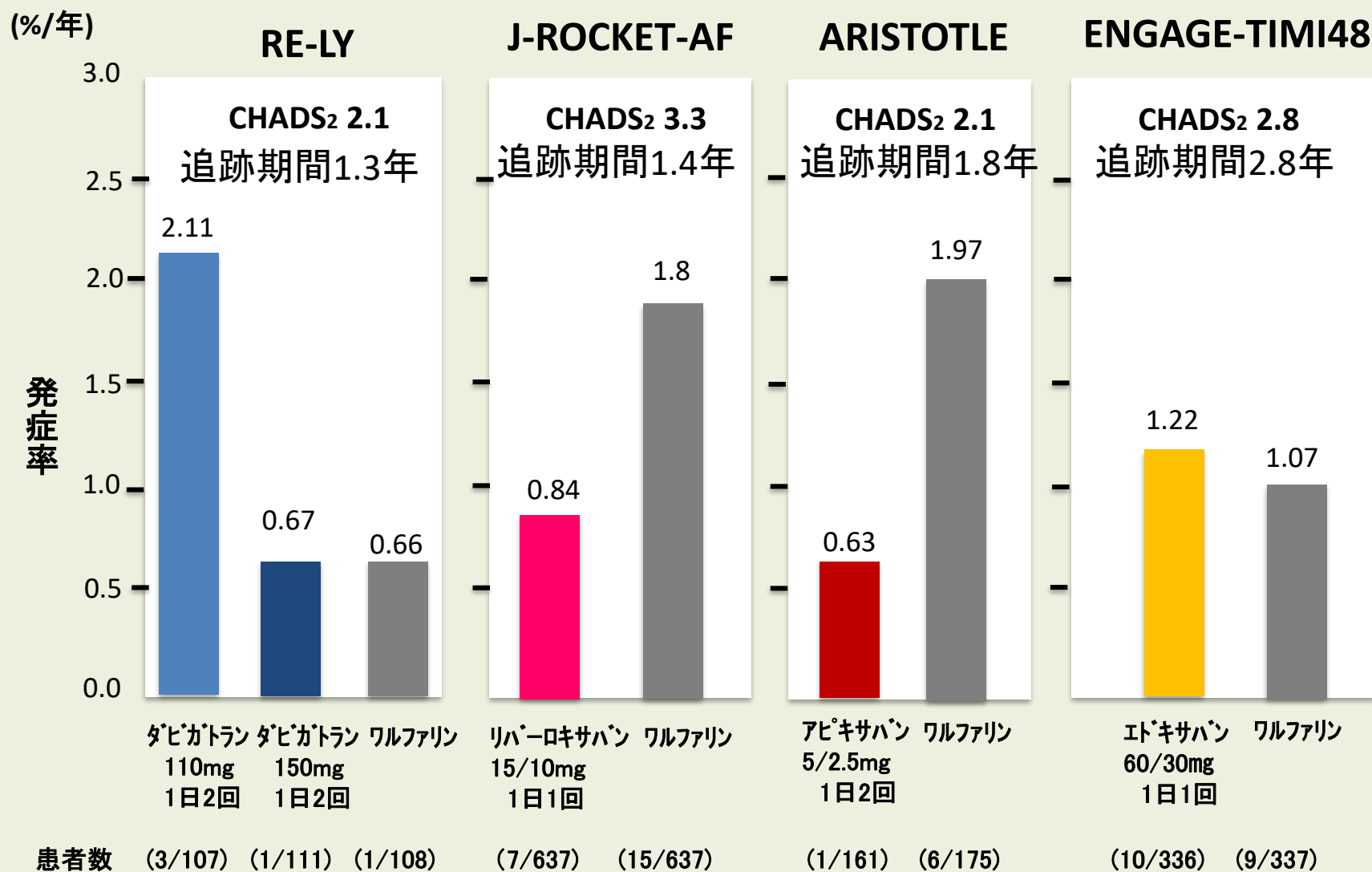
大出血
発現率(%)



観察期間 : 12週

*p<0.05, **p<0.01, vs ワルファリン

重大な消化管出血：上部・下部（日本人のみ）



当院での胃潰瘍発症までの期間 2.13 ± 1.22年（半数が2年半以上）

DOAC投与で、より注意しなければいけないのは
出血か？塞栓か？

確実な服薬が守られていさえすれば
塞栓よりは出血の発症予防が重要で
あり、リスクがあれば積極的減量によ
り出血を回避すべきと考える。

EBMからNBMへ

Narrative based medicine(Patient-centered medicine)

なんとなく出血が
怖いから、とりあえず
低用量で...

この患者の、このリ
スクを考えて低用
量を選択すべき！

消極的減量から積極的減量へ